もう、マイナースポーツなんて言わせない!

~スケートボードを知ってもらうために~

川口晃輝

大学生サポーター:山梨佳祐,土橋もも

①なぜこのテーマで取り組もうと思ったか

2020年 東京オリンピックが開催 スケートボードも新競技として実施することが決定

ところが...

スケートボードが実施されることを知っている人の割合は25.5%と全競技の中で最も低かった

①なぜこのテーマで取り組もうと思ったか

しかし…

静岡市には、世界レベルの施設を備えた

「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」がある

→この施設を活用して何かPRができないか?

② 活動の流れ

関係者の考えについて知る事が大切

→「オリンピック競技に決まったことをどう思うか」 インタビューを実施

- 「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」の店長(原さん)
- ・趣味としてスケートボードをやっている方(小口さん)

- ③ 活動を通しての気づきと学び1
 - ・関係者にとって、25.5%は 高い と感じている
 - ・オリンピック競技になったことは**うれしい**
 - ・マスメディアでの取り扱いが**増えた**
 - ・競技人口増加への期待
 - ・行政によるバックアップが増えることが期待

などなど

③ 活動を通しての気づきと学び1

関係者は僕の予想以上に

「盛り上がってきている」と感じたり、オリンピックをプラスに考えている

言い換えると、関係者とのギャップがある…?

④ 具体的な活動案

一般の人に、より知ってもらうためにできること・・・

案 1 スケートボードの体験会を実施

案2 スケートボード大会のチラシを作成

案3) スケートボードスクールのチラシを作成

⑤ 活動を通しての気づきと学び2

- ・スクールのチラシは配布していない
- ・施設に関するチラシは、スポーツ店には配布済み
- ・オープン時に市内の小中学校には配布
- ・静岡市の施設に配布

⑤ 活動を通しての気づきと学び2

現状では...

「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」と関係があるところには配布済み!

→ヒロバと「関係」が薄いところへ配布をすれば より新しい人に知ってもらうことができる!?

⑥ 今後の活動

スケートボードスクールのチラシを作成中

「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」の店長 原さんと内容の検討

富士市在住の元美術教師 松本さんとデザイン・レイアウトの検討

⑥ 今後の活動

チラシのイメージ図



- ⑥ 今後の活動
 - ●配布場所(予定)
 - ・市内の高校
 - ・コンビニ

など

- →今まで配布していない所
- →あまり関係(つて)がないところ

を軸に検討中

⑥ 今後の活動

- ●配布開始時期 (予定)
 - ・準備ができ次第
 - ・配布場所が見つかり次第

目標は、オリンピックの半年前令和2年1月中

⑦ まとめ・今後の課題

- オリンピック競技になったことはうれしい
- ・競技人口増加への期待

オリンピック前の一時的なものでなく

継続的な取り組みが重要

⑧ 最後に

引く続き、自分たちにできることを考え活動をしていきたいと思います!

ご清聴ありがとうございました